

日本伝熱学会関西支部 第18期 第2回講演討論会

日時：平成23年8月2日（火） 13:30～16:50

会場：大阪大学中之島センター7F・講義室3

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-53 TEL: 06-6444-2100

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

13:30～14:15 熊野 智之 氏（神戸高専）

題目：希土類ドーピングによる近赤外ふく射機能性釉薬の開発と高効率熱光起電力発電への展開

概要：熱光起電力発電システムの実用化に向けては優れた波長選択エミッターの開発が不可欠である。本講演では、希土類元素をドーピングした釉薬を用いてセラミックスの近赤外放射率を選択的に向上させる研究について紹介する。

14:15～15:00 明橋 武博 氏（クリエイティブテクノソリューション）

題目：ジェネライト排熱投入型温水ヒーターの開発

概要：小型コージェネレーションシステム（ジェネライト）の排熱を有効利用するとともに、これまで部分負荷効率が低いため運転効率が悪かった温水ヒーターの省エネ性能を向上させた『ジェネボ』を開発したので、報告する。

15:00～15:20 休憩

15:20～16:05 齋藤 元浩 氏（京都大学）

題目：触媒燃焼を熱源とした小型ジメチルエーテル改質器

概要：「輝炎を形成しない特殊な燃焼法である触媒燃焼」と、それを熱源として利用した「水素生成を目的としたジメチルエーテル水蒸気改質」という2つの反応を有する小型改質器を題材として「化学反応」との付き合い方を紹介する。

16:05～16:50 講演者調整中（三菱重工）

題目：太陽熱利用ガスタービンの開発状況～受熱器設計技術の開発～

概要：太陽熱利用ガスタービンは、今後市場の伸張が予測される再生可能エネルギー分野において効率、経済性等の点で有利なシステムである。本講演では太陽熱利用発電の世界での市場動向や稼動しているシステム事例を説明し、太陽熱利用発電の促進状況を紹介します。また、当社の太陽熱利用ガスタービンシステム構成及びそのメリットを紹介するとともに、キーコンポーネントである受熱器の開発状況を説明する。10kWth 受熱器要素試験（若狭湾エネルギー研究センター）、600kWth 級の検証試験（豪州 CSRI0）の結果概要について紹介する。

17:00 頃～ 意見交換会 場所調整中（会費 3000 円程度の予定）

講演会・意見交換会のご出欠を大阪大学、林潤（j.hayashi@mech.eng.osaka-u.ac.jp）宛てに『7月27日（水）』迄にお知らせ下さい。